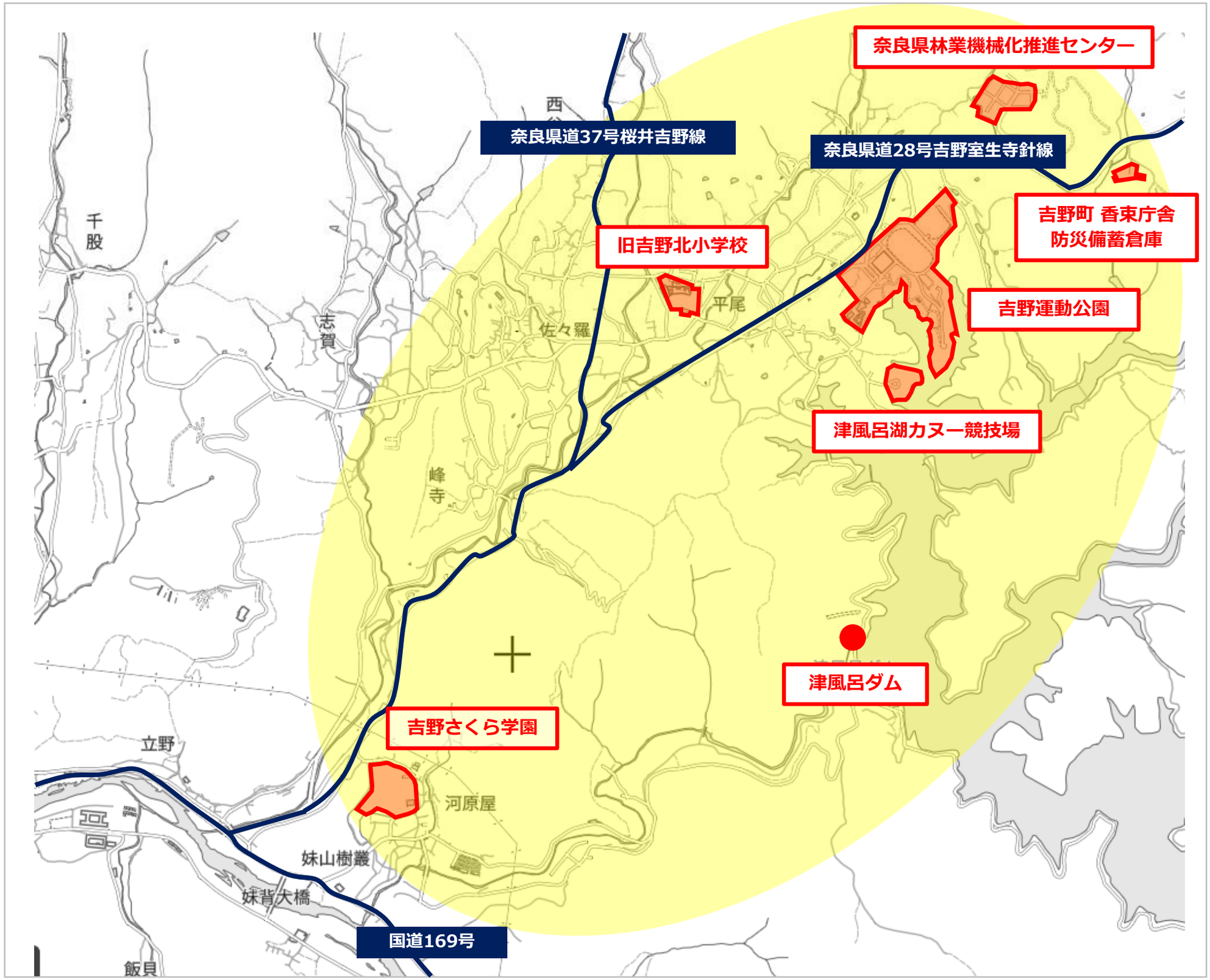
「町の安全を守る中枢」龍門地区
まちづくりの基本的な考え方

令和8年11月　吉野町

対象地区


奈良県林業機械化推進センター
奈良県道37号桜井吉野線
奈良県道28号吉野室生寺針線
吉野町 香束庁舎
防災備蓄倉庫
旧吉野北小学校
吉野運動公園
津風呂湖カヌー競技場
津風呂ダム
吉野さくら学園
国道169号
千股
志賀
佐々羅
平尾
峰寺
立野
河原屋
妹山樹叢
妹背大橋
飯貝

まちづくりの背景

- 国内で地震や豪雨による自然災害が発生する中、町民の防災意識も高まり、近い将来発生が懸念される南海トラフ大地震の発生を見据え、遊休施設となっている旧吉野北小学校、奈良県の広域防災拠点機能を補完するバックアップ拠点である吉野運動公園等を活かした防災機能の充実が必要である。
- 人口が減少する中、地域の持続可能性を高めていくために都市と地方が相互に補完し合う共生関係を強めるため、当町においても、地域資源を活かした農業体験や自然レクリエーション等の充実による関係人口の創出・拡大が必要である。
- 農業の担い手不足、遊休農地の増加、空き家の発生等に対応し、定住につながる地域資源の再編が必要である。
- 龍門地区には奈良県道37号桜井吉野線と奈良県道28号吉野室生寺針線があり、日本一の桜の名所ともいわれる吉野山へのアクセス道として利用され、町民にとっては通勤や買い物等の日常生活に必要不可欠な幹線道路である。県北中部と吉野町を繋ぐ主要道路が龍門地区にあり、その立地を活かしたまちづくりが求められている。

まちづくりのコンセプト

命を守り安心を生む、町の安全を守る中枢
～防災・農・交流を一体で進める龍門のまちづくり～

- 旧吉野北小学校及び吉野運動公園を核とした災害対策拠点の構築
- 地域の核となる農業を中心した産業振興と景観保全
- 津風呂湖でのスポーツ・アクティビティを通じた地域の活性化

まちづくりの取組イメージ

○災害対策拠点（防災・BCP）の整備

- 旧吉野北小学校を災害対策拠点として庁舎機能の一部移転、災害対策本部機能の整備
- 奈良県吉野土木事務所の誘致
- 大規模発災時における防災機能を強化するため「吉野運動公園」の機能強化
- 旧吉野北小学校及び吉野運動公園へのアクセス道路の整備、地域防災力の強化を目的した防災倉庫の整備

○定住・農業振興

- 新規就農者・認定農業者等の維持・増加策の実施
- 農地の適正管理・景観の保全
- 景観作物の作付け等、遊休農地の解消
- 移住可能な空き家や活用可能な農地の掘り起こし
- 農業体験等の実体験を通じた関係人口の創出、担い手の掘り起こし
- 地域の食の魅力を発信する拠点整備

○都市圏との交流拡大

- 国民スポーツ大会などの大規模大会の誘致・開催
- 令和9年春開所予定の（株）奥村組新施設「ＹＯＳＨＩＳＨＯ」など、町内宿泊施設と連携したスポーツ合宿の誘致
- 津風呂湖周辺の観光施設の充実（新設、更新）
- 地域と連携した農業体験、農家民泊等の推進
- 津風呂湖、龍門岳のサイクリング、ハイキング等、体験コンテンツの充実